

# 魅力だより

◆最上教育事務所「魅力ある学校づくり調査研究事業」通信第5号  
 ◆令和2年9月18日（金）  
 ◆最上教育事務所 指導課

## 「魅力ある学校づくり調査研究事業」に係る「各学校の実践紹介#1」

### 舟形町立舟形小学校の実践

【目標】 「ア 学校が楽しい」の項目について、「当てはまる」の割合を下学年80%以上、上学年70%以上にする。

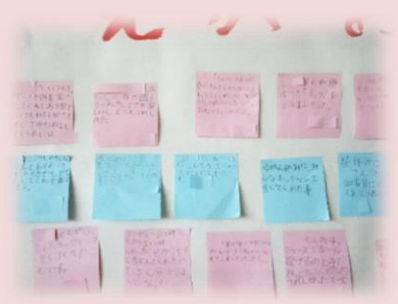
【活動名】 「ONE チーム大作戦」 *Check!*

【ねらい】 学校・児童会のスローガンである「挑戦」について、各学級や児童会全体で具体的な取組を企画し、学校生活をより良くする。

【内容】

#### 1 「あいさつクラスマッチ」(運営委員会を中心とした児童会の取組)

- ・今、学校生活で足りないとする「あいさつ」について、「あいさつが響き合う学校」「自分からあいさつする舟形小」にするために活動する。
- ・クラス代表2名が運営委員とともにあいさつ運動に参加し、良かった点や改善点をクラスに持ち帰って話し合い、次の日からの「あいさつ」に生かす。
- ・クラスの友達の名前を呼び合って「あいさつ」をしたり、クラスで話し合った結果を運営委員会に報告し学校全体の「あいさつ」をさらに改善したりする。



4年生の取組

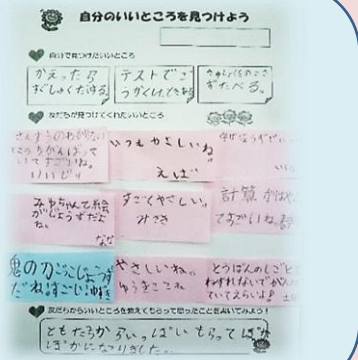


あいさつクラスマッチ

#### 2 言われてうれしかった言葉や友達のいいところ紹介

- ・学校生活をより良くするために、お互いの良さを認め合う機会を増やす学級の取組である。

- 1年生：「ハッピータイム」(誕生日のお祝いインタビュー)
- 2年生：「わくわくタイム」(友達のいいところを探し伝え合う)
- 3年生：「友達のいいところ探し」
- 4年生：「笑顔タイム」(笑顔になったことやうれしかった言葉を伝える)
- 5年生：「5年1組の木」(友達の頑張っているところや友達にありがとうを伝える)
- 6年生：「いいところ発表週間」(友達の頑張りを認め合う)



2年生の取組

舟形小の実践から学ぶ

## 教師主導の「居場所づくり」と児童主体の「絆づくり」のバランスの秀逸さ